

東海第二発電所における、新規制基準への適合性確認審査の申請内容について、順次お知らせします。
今回は、津波対策についてご説明します。

～津波対策への取り組み～

1. 防潮堤を設置し、津波の浸入を防ぎます

東海第二発電所の津波対策への取り組みは、以下の2つの観点から実施しています

1. 敷地外からの浸入を防ぐ

防潮堤の設置工事を
行っています

(表面)

2. 建屋内への浸入を防ぐ

水密扉の設置を行いました

(裏面)

これらの対策を講じ、
津波対策の多重化を図ります

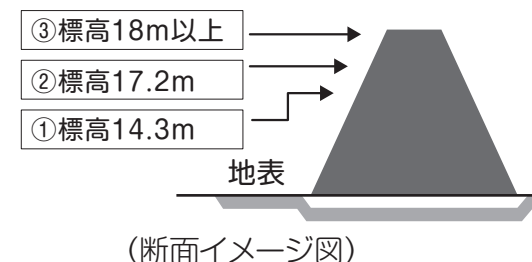


① 発電所の取水口前面での
津波の高さ：最高水位は
標高14.3m

② 防潮堤での津波の
高さ：最高水位は
標高17.2m

③ 高さ標高18m以上の
防潮堤を設置

防潮堤の高さについて



(現在は、海水ポンプ室周りの調査(測量)や資機材搬入、干渉物調査などを実施しています)

適合性確認は、安全性向上に資するものであり、再稼働に直結するものではありません
今後とも、住民の皆様に積極的かつきめ細かく丁寧に情報を提供してまいります

2. 建屋内の重要設備の扉を水密扉に取り替え、建屋内部への浸入を防ぎます

防潮堤の設置に加え、原子炉建屋の大物搬入口の水密化だけでなく、建屋内の安全上重要な設備（冷却ポンプや電源盤、蓄電池など）のある部屋の扉についても、密閉性の高い水密扉に取り替えました。

建屋への浸入を防ぐ



（開放状態）

原子炉建屋大物搬入口の水密扉（設置済）

重要設備への浸入を防ぐ



（閉止状態）



（開放状態）

電気室の水密扉（設置済）

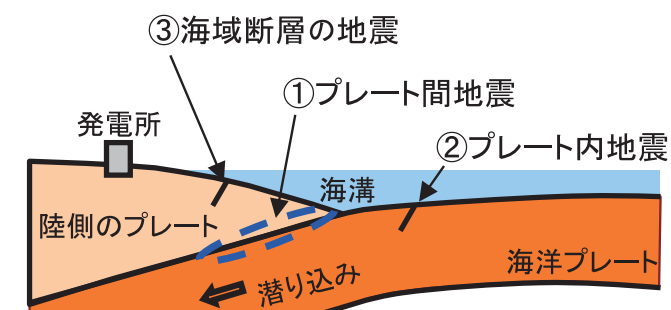
Q&A 津波の最高水位はどのように評価したのですか？

東北地方太平洋沖地震の知見などを踏まえ

- ①陸側と海洋のプレート間地震
- ②プレート内地震
- ③海域断層

の地震等を評価し、発電所に到達する最大の津波を評価しました。

その結果、東海第二発電所の取水口前面での最高水位が標高14.3mとなりました。



発電所の現況

燃料は原子炉から全て取り出し、使用済燃料プールで冷却しています

当社ホームページ「東海第二発電所の新規制基準への対応」より、「新規制基準への適合性確認申請内容」や「げんでん東海（最新号まで）」等の情報をご覧ください



当社ホームページ
QRコード



テラちゃん



ゲンくん

東海原子力館（東海テラパーク）からのお知らせ

展示物等のご案内

*地域の方々の作品を展示しています

●5月26日～9月10日

「夏飾り展」

●6月5日～6月30日

「手織り展」“経の糸” “緯の糸”

～どなたでもご覧いただけます～



東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1
電話 029-287-1252
開館時間 9時～16時30分
入館料 無料
休館日 年末年始（12/29～1/3）

お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ 原電 検索
<http://www.japc.co.jp/>